

研究シーズのタイトル

放課後児童クラブにおける育成支援の質の向上

研究者名

菅原 航平

所属

人間社会学部

研究シーズの専門分野

心理学,保育学

研究シーズのキーワード

放課後児童健全育成事業,放課後児童クラブ,研修,育成支援の質,評価

研究シーズの概要

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）は令和6年5月1日現在で約152万人の児童が利用（登録）しており、約20万人の放課後児童支援員等の職員が支援にあたっています。小学校1年生では約半数の児童が利用している非常に重要な事業です。しかし、待機児童問題などを背景として利用定員の拡充等量的な拡大は急速に進められていますが、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が参酌化されるなど育成支援の質的な側面の保障は検討が十分に進んでいません。職員の資質向上や育成支援の質の向上に、市区町村単位での研修システムの整備や実践事例の収集・共有、育成支援の質の評価方法の開発などを通して貢献できればと思います。

研究シーズの適用分野

各市区町村により地域や子育ての課題は様々で放課後児童クラブにも多様な運営方法があり、同一市町村内でも企業やNPO等への委託、社会福祉法人や保護者会の運営など多様な運営主体により運営がなされている場合が多いかと思えます。それぞれの自治体等の課題に応じた研究を進めていくことができればと思えます。

共同研究が期待される外部機関

都道府県市区町村,放課後児童クラブ連絡会・指導員会など関係の団体